

2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

1. 動向

2021年1-3月の延べ宿泊者数（全体）は「919,580人」、前年同期比で「-38.6%」でした。

日本人延べ宿泊者数は「910,800人」、前年同期比で「-33.8%」でした。

外国人延べ宿泊者数は「8,780人」、前年同期比で「-92.8%」でした。

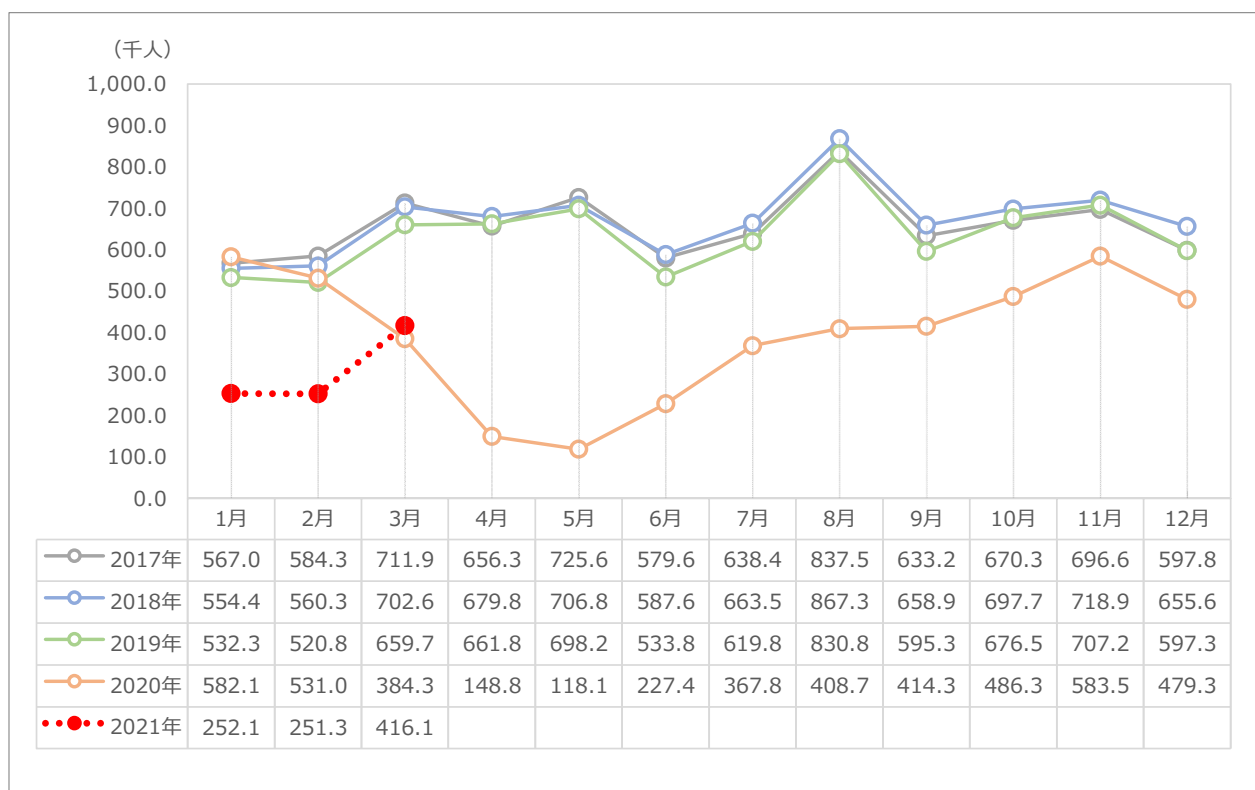
2. 延べ宿泊者数

総数：	919,580	人	（前年比： ▲38.6 %）
1月：	252,140	人	（前年比： ▲56.7 %）
2月：	251,310	人	（前年比： ▲52.7 %）
3月：	416,130	人	（前年比： 8.3 %）

※前年比・・・2020年1Qとの比較

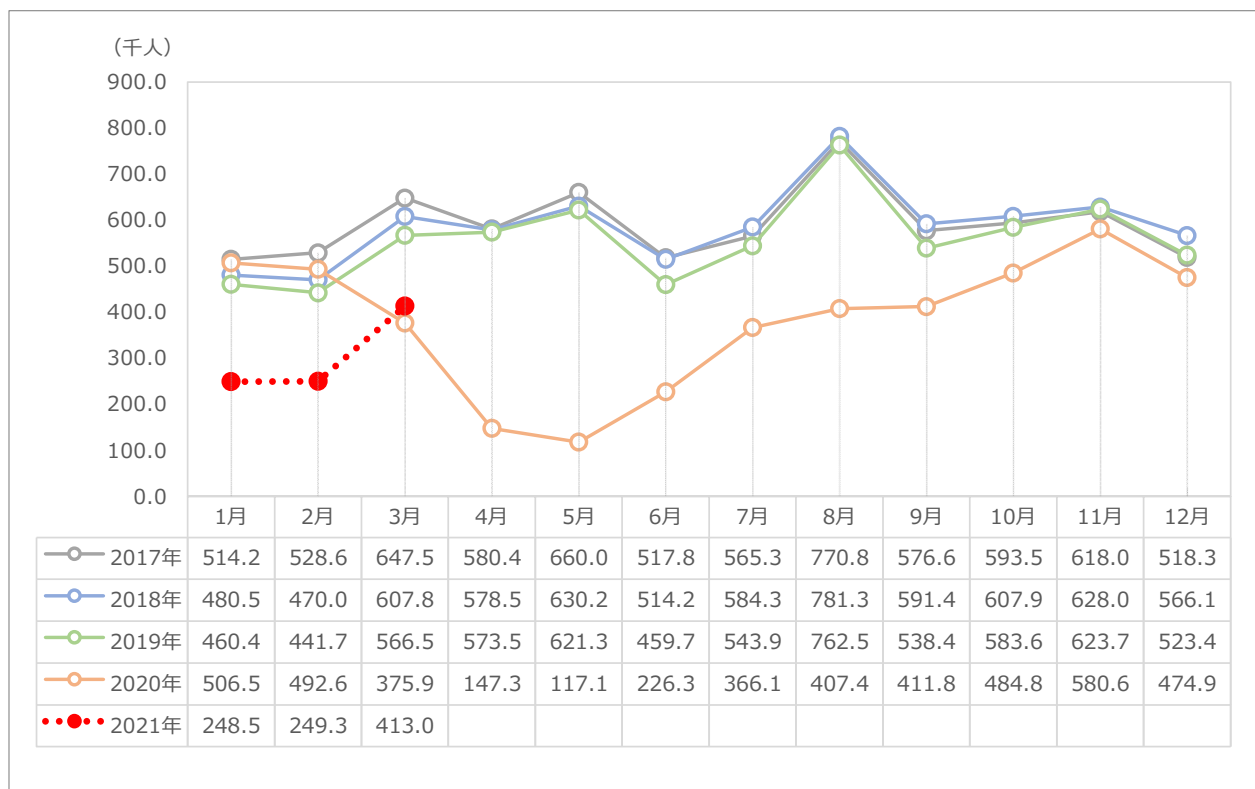
3. 推移

① 延べ宿泊者数（全体）

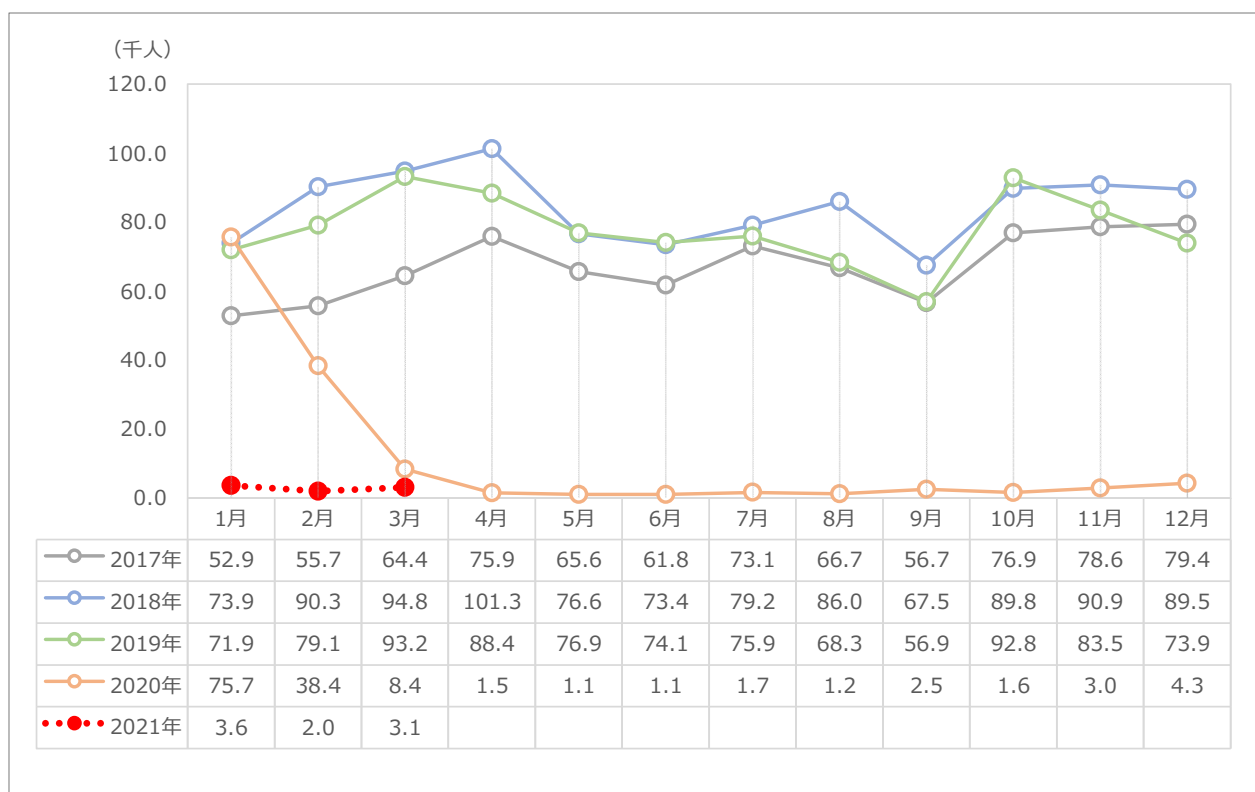


2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

② 日本人延べ宿泊者数

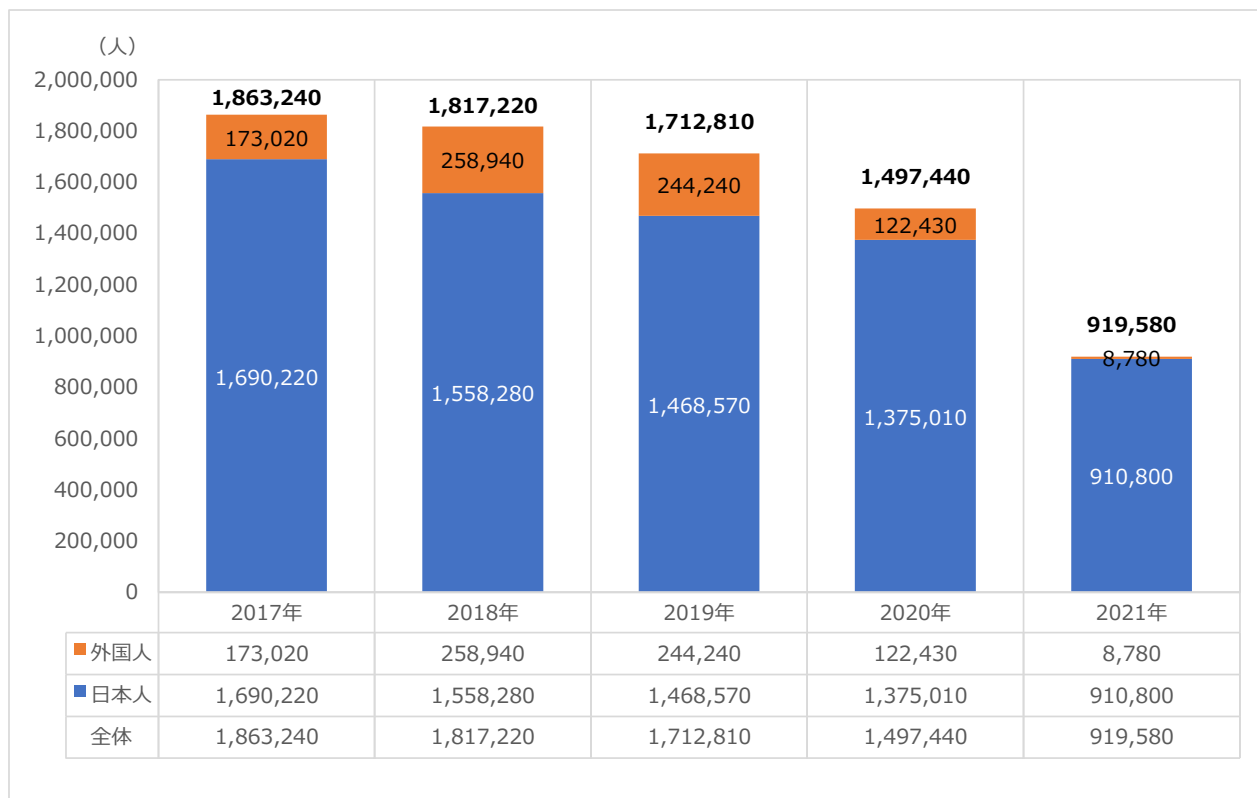


③ 外国人延べ宿泊者数

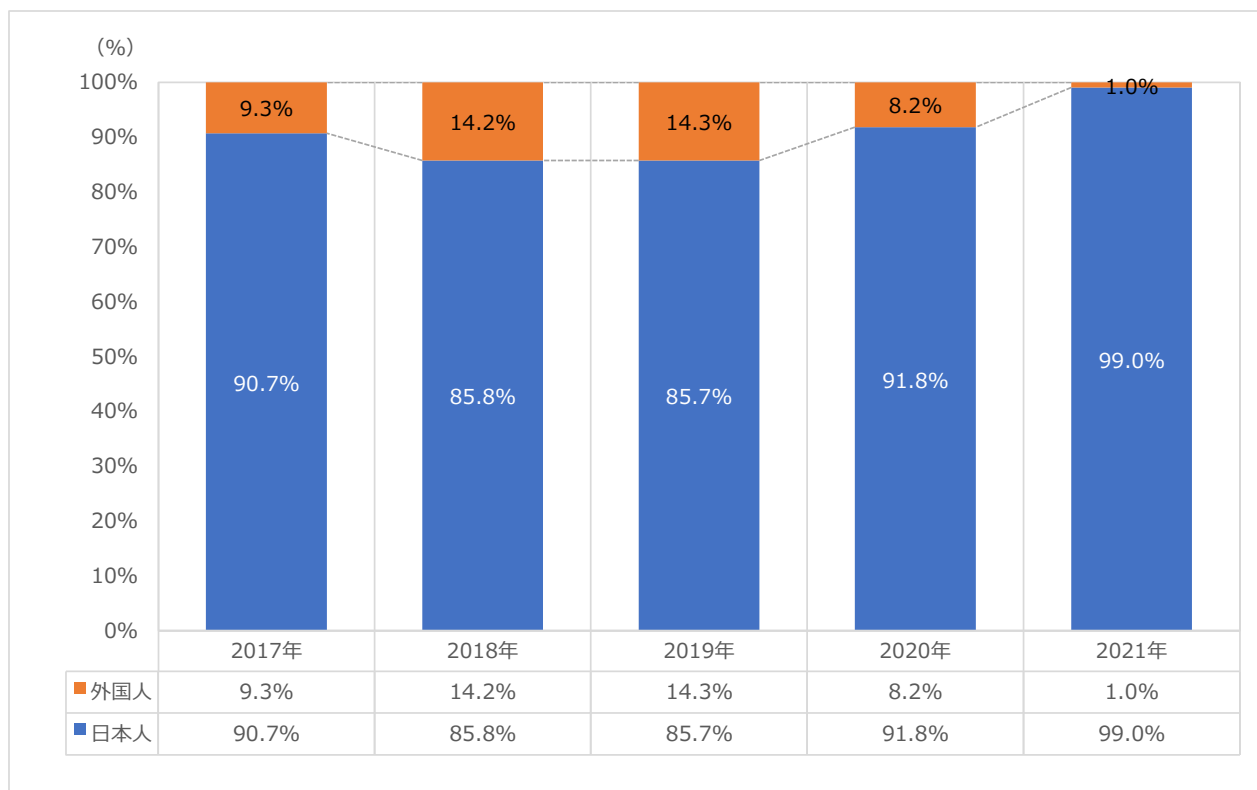


2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

4. 日本人・外国人別宿泊者数



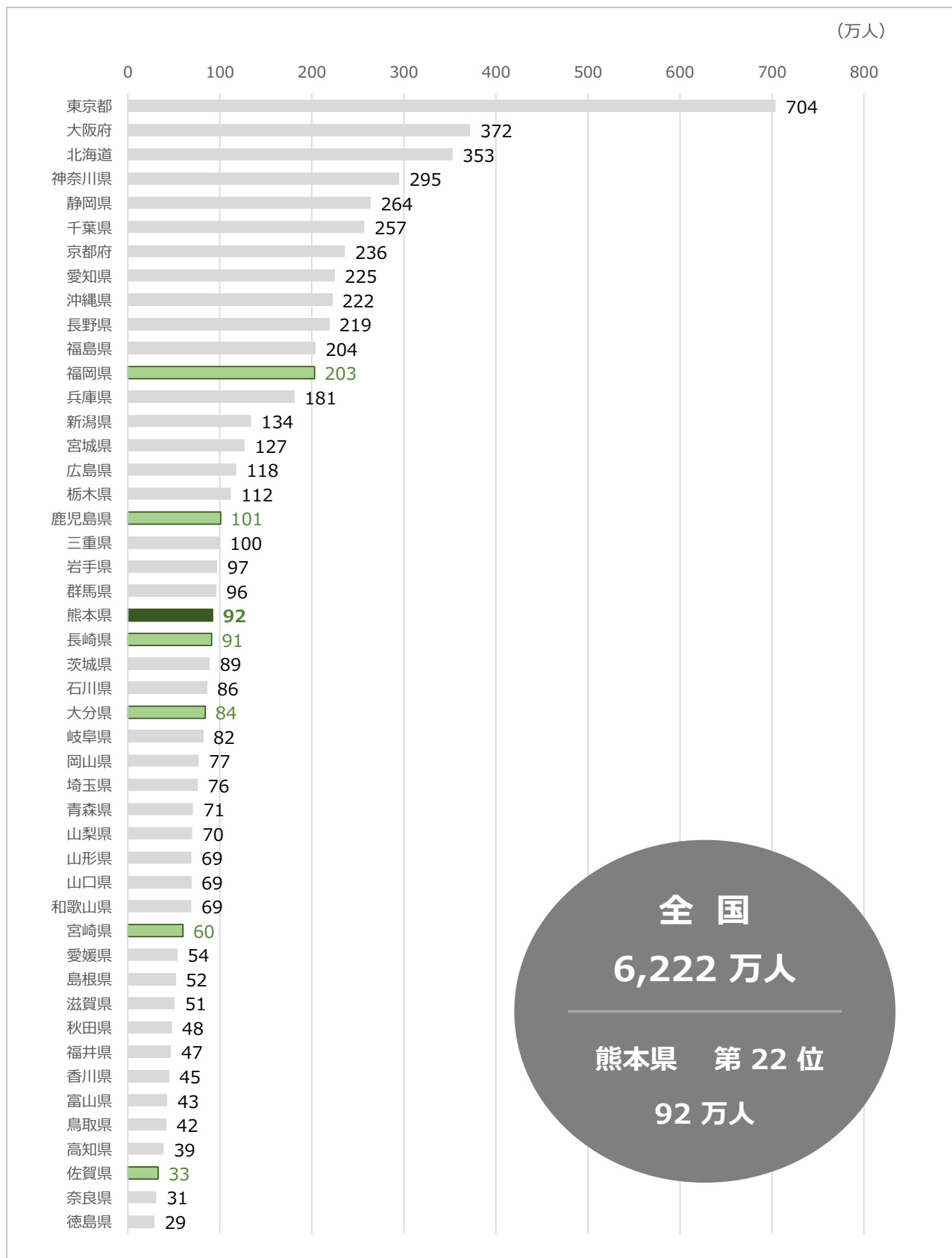
5. 日本人・外国人別割合



2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

6. 都道府県別延べ宿泊者数

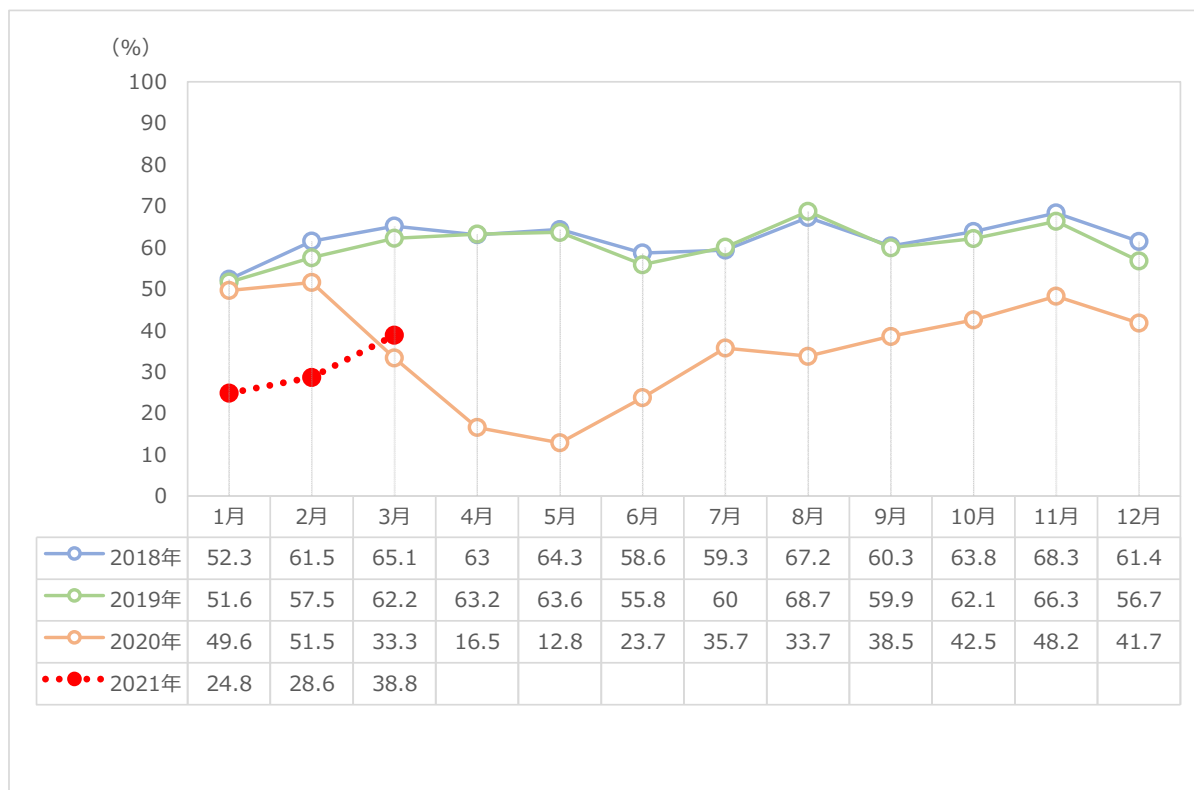
※熊本県および九州各県（沖縄県を除く）は強調色を採用



2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

7. 客室稼働率

① 推移



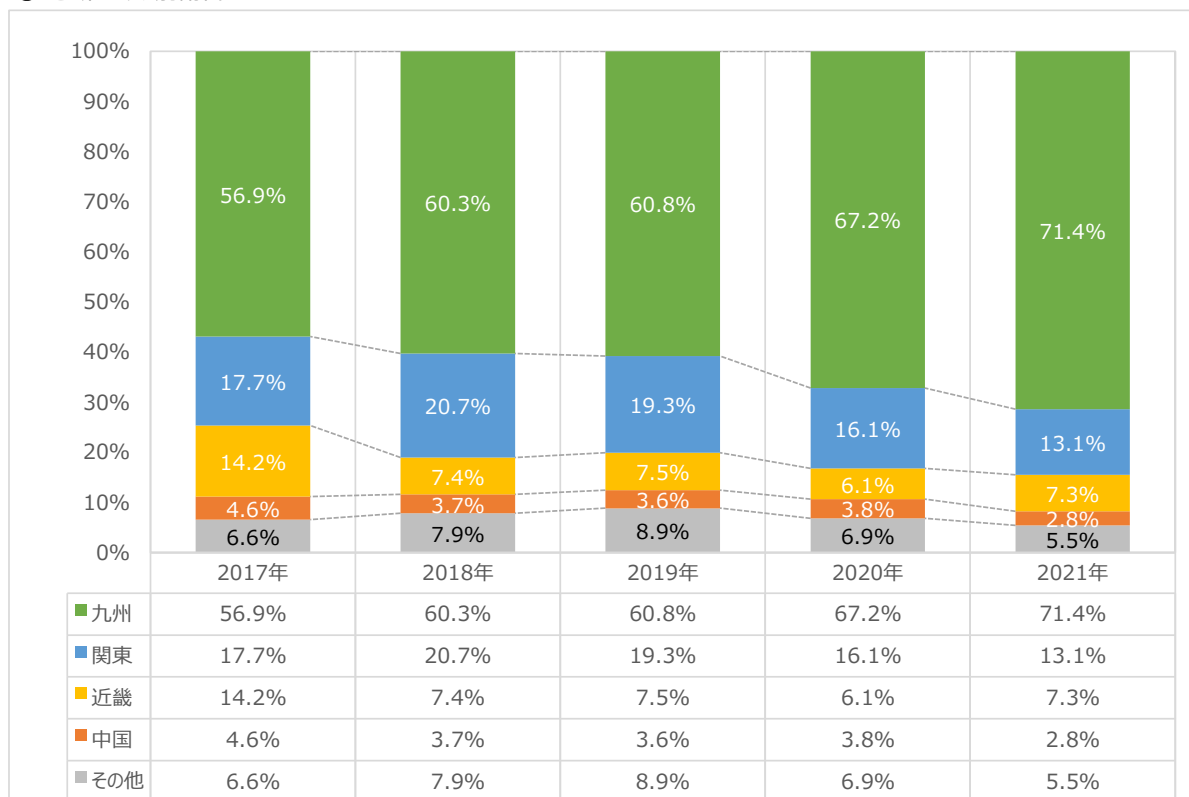
① 施設別稼働率

施設	2020年			2021年		
	1月	2月	3月	1月	2月	3月
全体	49.6%	51.5%	33.3%	24.8%	28.6%	38.8%
旅館	38.5%	38.3%	25.9%	13.0%	14.8%	25.0%
リゾートホテル	39.3%	27.4%	17.1%	9.0%	7.4%	19.1%
ビジネスホテル	68.7%	71.7%	46.7%	37.7%	43.4%	54.4%
シティホテル	58.5%	60.8%	33.7%	27.5%	30.6%	51.8%
簡易宿所	15.8%	22.1%	15.0%	8.8%	8.9%	16.6%
会社・団体の宿泊所	4.4%	14.5%	13.3%	3.8%	6.7%	3.5%

2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

8. 国内発地別延べ宿泊客数（従業者数100人以上の施設）

① 地域ブロック別割合



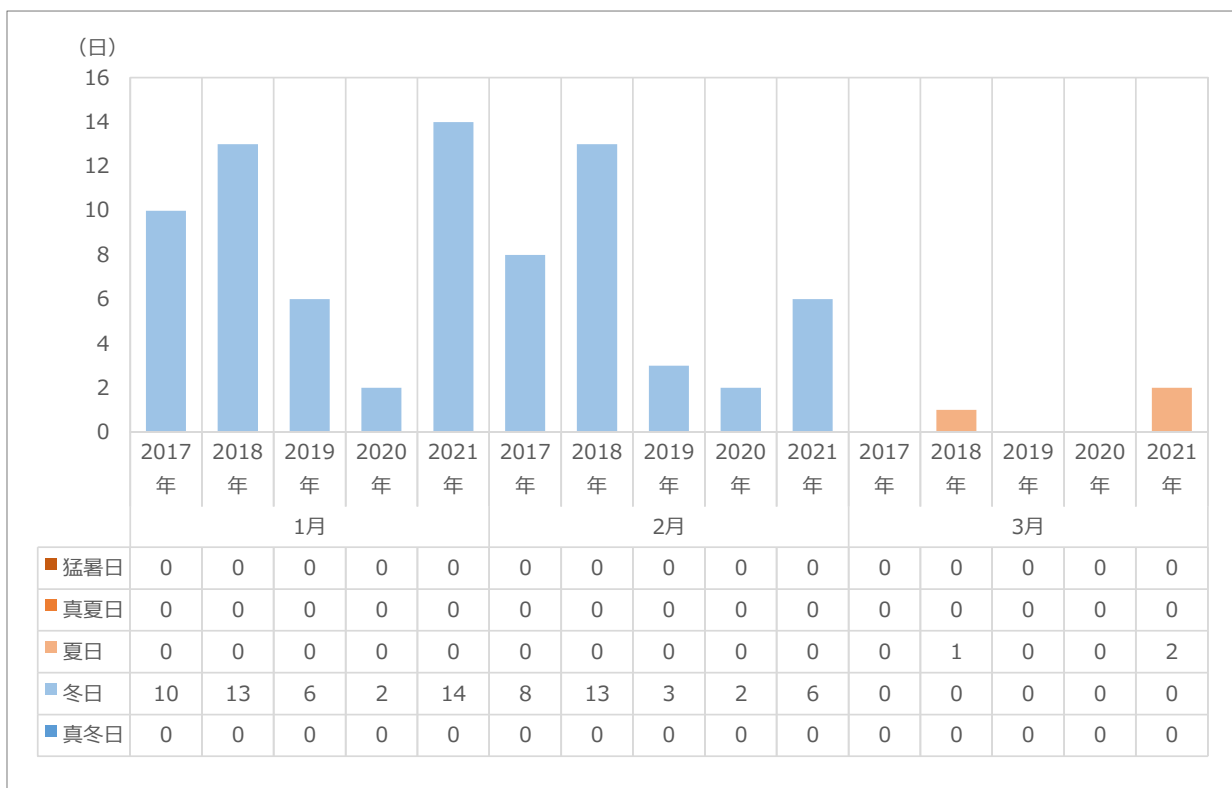
② 都道府県別順位（上位10都道府県）

ランキング	2020年		2021年	
1	福岡県	25,032人	熊本県	15,923人
2	熊本県	14,352人	福岡県	14,437人
3	東京都	6,932人	東京都	3,479人
4	鹿児島県	3,606人	大阪府	1,740人
5	神奈川県	2,370人	鹿児島県	1,665人
6	宮崎県	2,363人	大分県	1,440人
7	長崎県	2,342人	神奈川県	1,405人
8	大阪府	2,200人	宮崎県	1,378人
9	大分県	2,118人	佐賀県	1,092人
10	佐賀県	1,768人	長崎県	1,041人

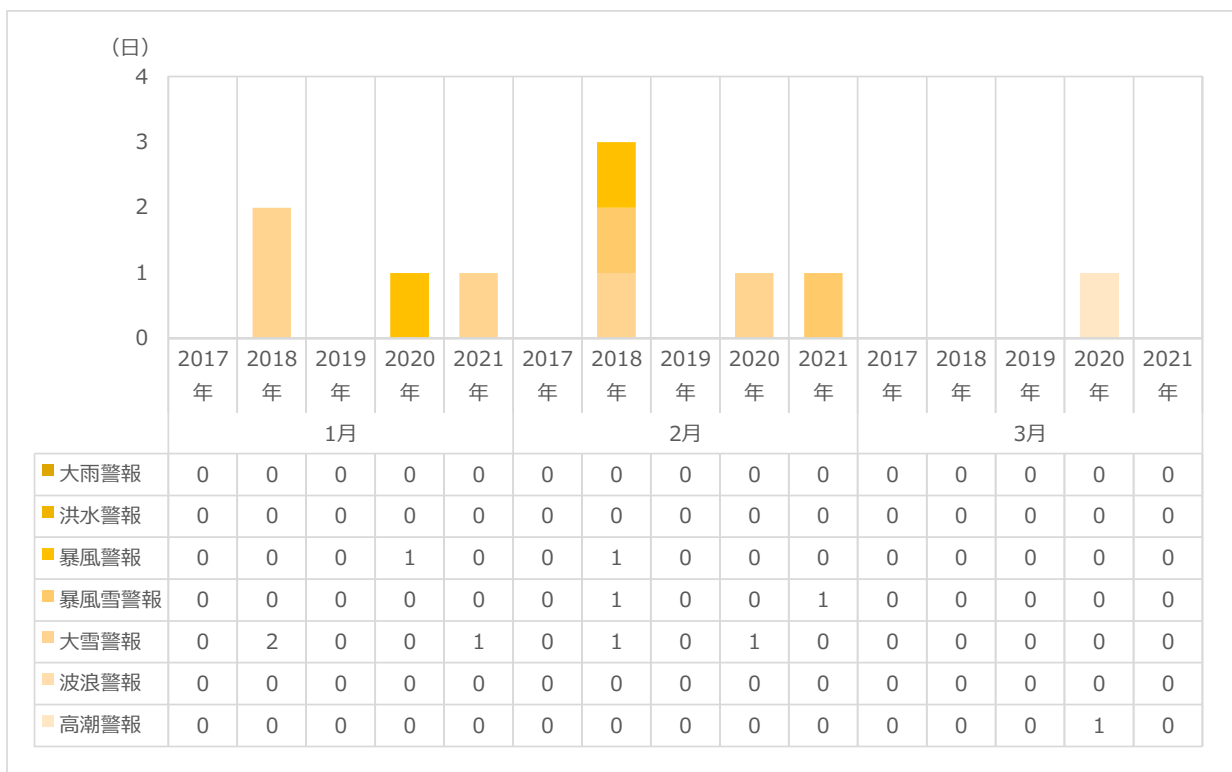
2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

9. 気象情報

① 真冬日・冬日、夏日・真夏日・猛暑日の観測日数（熊本観測所（熊本市））



② 県内警報発令日数



2021年1Q 熊本県宿泊旅行統計調査（00.熊本県全体）

10. 地域のトピックス、観光シーズンの動向など 【特記事項がない場合は空欄】

▽ 地域のトピックス ▽

- ・首都圏で特措法に基づく緊急事態宣言が発令（1/8）
 - ・熊本市が医療非常事態宣言を発令、熊本城・熊本動物園が順次休館へ（1/10）
 - ・熊本県が独自の緊急事態宣言を発令（1/13）
 - ・特措法に基づく緊急事態宣言の適用区域が福岡県を含む10都府県に拡大（1/14）
 - ・熊本県・熊本市が宣言解除（2/17）
 - ・首都圏除く6府県で特措法に基づく緊急事態宣言を解除（2/28）
 - ・新阿蘇大橋が開通（3/7）
 - ・首都圏4都府県で特措法に基づく緊急事態宣言を解除（3/21）
- ・「くまもと再発見の旅」実施（エリア：熊本県全域、対象：熊本県民、宿泊期間：3/16～）

▽ 観光シーズンの動向 ▽

熊本県や熊本市での新型コロナウイルス感染拡大による宣言の発令、他地域での特措法に基づく緊急事態宣言発令、Go To トラベルキャンペーン停止などを受けて、期間を通じて宿泊者数の推移は低調であった。ただ、新型コロナウイルスが一時的に収束した3月下旬の週末は、阿蘇地域・天草地域・山鹿市・菊池地域など観光エリアを中心に日本人宿泊者が昨年・一昨年並みに回復した。

熊本県宿泊旅行統計調査について

1. 本調査は以下を調査結果として表章しています。

- (1) 延べ宿泊者数、発地別宿泊者数・割合、調査対象施設数、有効回答数・回答率、国籍（出身地）別宿泊者数・割合
観光庁が実施する「宿泊旅行統計調査」の調査票情報の提供を受けて県内11の地域ごとに推計または集計した値
※2017～2019年は確定値、2020～2021年は第2次速報値を採用
※新型コロナウイルス感染拡大に伴う入国規制の影響で、外国人延べ宿泊者数が著しく少ないことから、「国籍（出身地）別外国人者数延べ宿泊構成比」「国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数・割合」の掲載を見送っている。
- (2) 気象情報
気象庁および一般財団法人気象業務支援センターが提供するオープンデータをもとに集計した値
- (3) 地域のトピックス
メディア（TVや新聞など）のデータベースから県内11の地域ごとに観光に関連する情報を収集したもの
- (4) 観光シーズンの動向
「DATASALAD」（公益財団法人九州経済調査協会）の宿泊稼働状況指数、「観光予報プラットフォーム」（観光予報プラットフォーム推進協議会）の宿泊実績から県内11の地域ごとに動向をまとめたもの

2. 推計方法は、標本調査結果を母集団に拡大する「ウェイトバック集計」により県独自で算出しています。

3. 調査結果の整合については以下に注意が必要です。

- (1) 本調査内の数値
端数処理（表記のひつつ下の位で四捨五入）により内訳とその合計に差異が生じることがあります。
国籍（出身地）別は従業者数10人以上の施設を対象とした調査であるため、その合計は外国人延べ宿泊者数と一致しません。
- (2) 他の同類・類似調査
調査ごとに仕様が異なるため同類・類似調査であっても結果に差異が生じ、その程度は大小さまざまになることが想定されます。
⇒ 仕様：調査の目的や手法、入手する情報やその時期など

* 本レポートの対象市町村は「県内全市町村」です。